

## 年末年始の旅客実績にみる業界勢力図の変化

2018年1月5日

国内航空各社が発表した年末年始(12/28~1/3)の旅客実績をもとに、若干の分析・考察を行った。

(注)リージョナル航空のFDAは含めていない。

前年数値は変化率をもとに逆算した数値を使っている。

### 1. 概括

- ① 期間中の総旅客数は、国内線・国際線ともに増加したが、内容は会社によってばらつきがみられる。

	旅客数		旅客シェア	
	当年	増減	当年	変化
	千人	千人	%	P
国内線	<b>合計</b>	<b>2,369</b>	<b>21</b>	
	ANA	1,077	-9	45.4 -0.8
	JAL	787	12	33.2 0.2
	SKY	148	0	6.2 0.0
	中堅3	132	-3	5.6 -0.2
	LCC	225	20	9.5 0.8
国際線	<b>合計</b>	<b>496</b>	<b>18</b>	
	ANA	213	10	43.0 0.5
	JAL	195	5	39.3 -0.4
	LCC	88	3	17.7 -0.1

- ② 国内線総旅客数は2369千人で、前年同期比で+21千人(+1%)。

ANA; 機材小型化等で席数減(▲4.5%)となったことで旅客数も微減(▲0.8%)となったが、JALとは依然大きな開きがある(JALより37%多い)。

一方搭乗率は+3ポイントと目立って上昇し、JALを抜いた。

これによって収益性が大きく向上していることがうかがえる。

JAL; 座席数(+0.9%)を上回って旅客数が増加(+1.6%)し搭乗率は上昇、旅客シェアも若干回復した。

SKY; ほぼ前年同期間なみの推移ながら、90%超の高い搭乗率であった。

中堅3社; 軒並み搭乗率が低下→収益性の低下が懸念される。

ADO; 前年並みの供給→旅客数は▲4.9%減、搭乗率は大きく低下。

ソラト; +2.9%の席数増も旅客は伸びず、搭乗率は低下。

SFJ; 小幅ながら旅客減&搭乗率低下となった。

## JAMR レポート

LCC; Jetstar-J の躍進と Peach の足踏み、Vanilla が大幅供給増。

Jetstar-J; 絶好調、席数増(+6.8%)を大きく上回る旅客増(+13.4%)で、搭乗率は国内トップの91%超。

Peach; ANA の子会社化による事業制約(主要成田路線の廃止)もあってか、旅客は減少し、搭乗率も低下した。

Vanilla; 供給席数は1.5倍と著しく増加、搭乗率は低下。

③ 国際線総旅客数は496千人で、前年同期間に比べて+18千人(+4%)。

うち過半がANAの増加によるもので、そのシェアは拡大、搭乗率も向上。

JALも増加して搭乗率は91%超となったが、シェアでは低下。

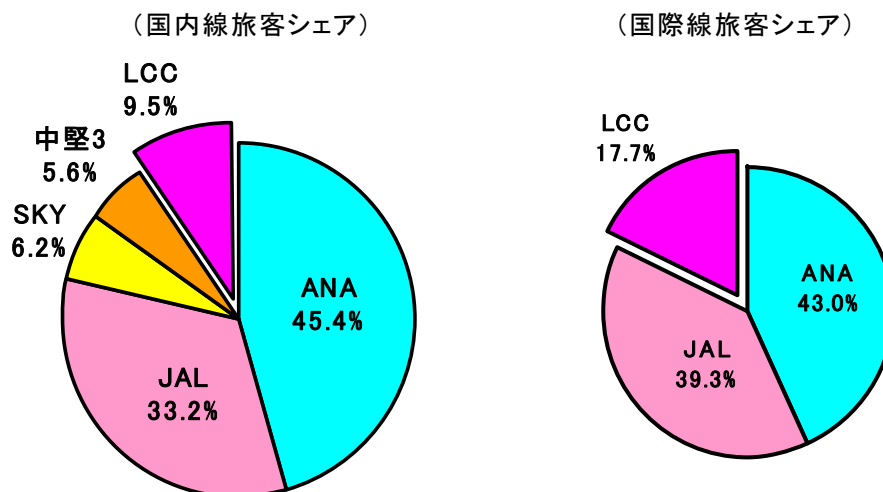
LCCはPeachが増加したが搭乗率は小幅低下、Vanillaは小幅旅客減で搭乗率も低下。Jetstar-Jは規模は小さいながら搭乗率は大きく上昇。

	座席数		旅客数			搭乗率		旅客シェア	
	増減	率	当年	増減	率	当年	変化	当年	変化
(国内線)	千席	%	千人	千人	%	%	P	%	P
ANA	-62	96	1,077	-9	99	82.2	3.0	45.4	-0.8
JAL	9	101	787	12	102	81.1	0.6	33.2	0.2
SKY	1	100	148	0	100	90.6	-0.2	6.2	-0.0
ADO	0	100	50	-3	95	82.7	-4.3	2.1	-0.1
ソラト	2	103	46	0	100	84.9	-2.5	2.0	-0.0
SFJ	-0	100	36	-0	99	88.7	-0.5	1.5	-0.0
(中堅3社)	1	101	132	-3	98	85.0	-2.7	5.6	-0.2
Peach	-1	99	70	-3	96	85.9	-2.8	2.9	-0.2
Jetstar-J	8	107	109	13	113	91.1	5.4	4.6	0.5
Vanilla	14	155	32	10	146	82.6	-4.9	1.4	0.4
Spring-J	-5	67	9	-6	61	84.1	-7.4	0.4	-0.2
AA-J	6		5	5		82.8		0.2	0.2
(LCC5社)	22	109	225	20	110	87.6	0.3	9.5	0.8
合計	-29	99	2,369	21	101	83.0	1.6	100.0	
(国際線)									
ANA	9	104	213	10	105	84.8	1.0	43.0	0.5
JAL	3	101	195	5	103	91.3	1.2	39.3	-0.4
Peach	4	109	44	2	106	88.7	-2.6	8.8	0.1
Jetstar-J	-0	99	16	1	104	89.6	4.4	3.2	0.0
Vanilla	0	100	24	-1	96	85.8	-3.6	4.8	-0.4
Spring-J	3	200	4	1	130	83.9	10.9	0.9	0.2
(LCC4社)	6	107	88	3	104	87.8	-2.9	17.7	-0.1
合計	19	103	496	18	104	87.8	0.4	100.0	

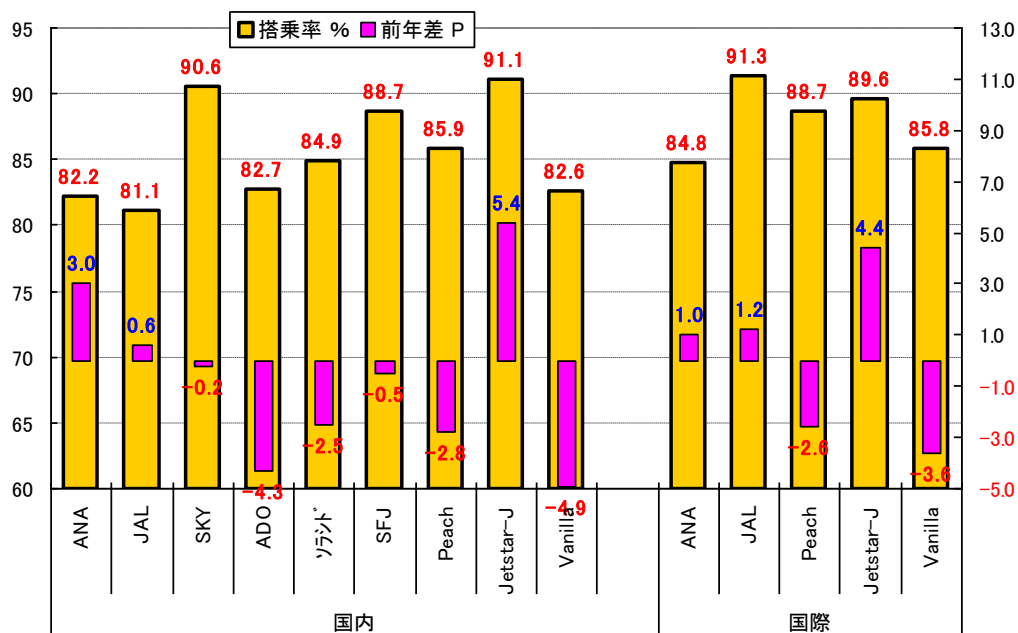
JAMR レポート

2. 指標でみる各社の勢力図

- ① 旅客シェア； 国内線はANA45%、JAL33%、LCCは10%壁を破れず。  
LCCは国際線で約18%の足踏み。



- ② 搭乗率； 国内線ではSKYとJetstar-Jが、国際線ではJALが90%超。  
ANA、JAL、Jetstar-Jが搭乗率で向上、Peach、Vanillaと中堅3社の搭乗率が低下。



JAMR レポート

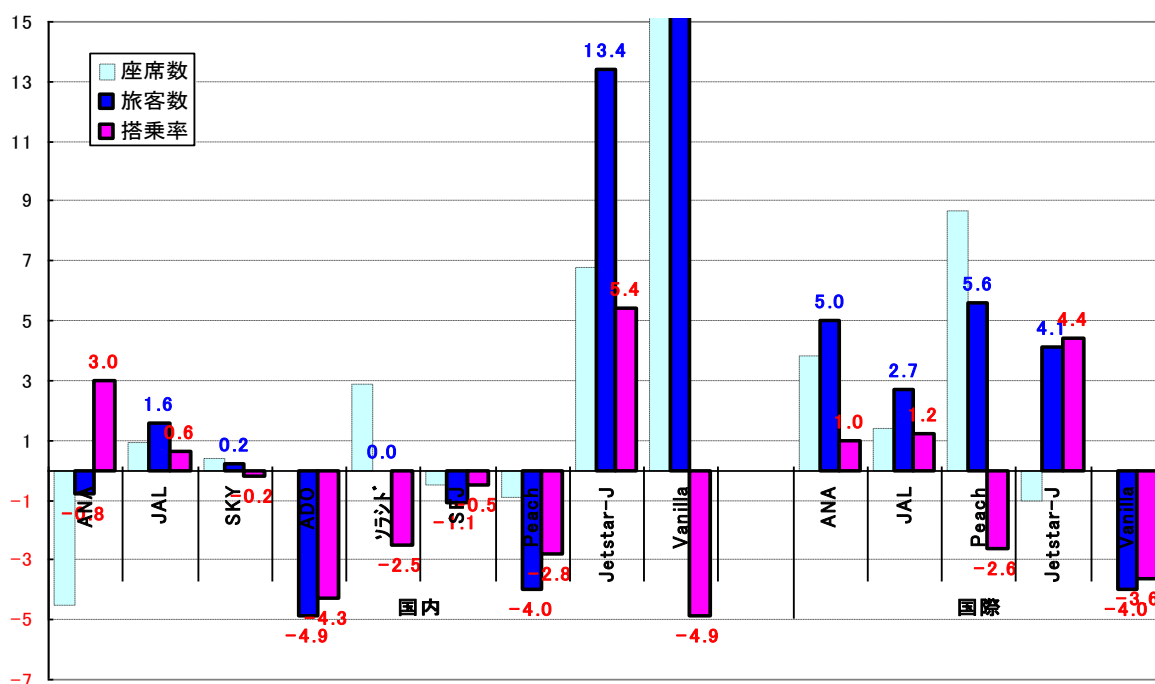
④ 前年同期間と対比した供給席数、旅客数、搭乗率でみる各社の状況  
(国内線)

- ANA; 席数減、旅客微減、搭乗率大きく向上。
- JAL; 席数微増、旅客増、搭乗率向上。
- SKY; ほぼ前年並みの推移。
- ADO; 前年並み席数で旅客が大幅減、搭乗率低下。
- ソラト; 席数増ながら旅客減、搭乗率低下。
- SFJ; 席数減を上回る旅客減で搭乗率低下。
- Peach; 席数微減、旅客減で搭乗率低下。
- Jetstar-J; 席数の増を大きく上回る旅客増で搭乗率が大きく上昇。
- Vanilla; 著しい席数増と旅客増も、後者が追い付かず搭乗率は低下。

(国際線)

- ANA; 席数増とそれを上回る旅客増で搭乗率は向上。
- JAL; 小幅増の席数を上回る旅客増で搭乗率は向上。
- Peach; 大幅な席数増に旅客の増が追い付かず、搭乗率は若干低下。
- Jetstar-J; 席数微減ながら旅客は増加し、搭乗率は向上。
- Vanilla; 前年なみの席数で旅客が減少、搭乗率は低下。

(前年同期間との対比でみた会社ごとの座席数/旅客数増減率と搭乗率の上下幅)



以上